2025 年 6 月 4 日

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社
株式会社グリーンエナジー・プラス

ERE グループとグリーンエナジー&カンパニーグループ 中部エリアにおける低圧太陽光バルク開発での協業開始のお知らせ

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹内 一弘、以下「ERE」）と、株式会社グリーンエナジー&カンパニー（本社：徳島県松茂町、代表取締役社長：鈴江 崇文　証券コード：1436）の連結子会社である株式会社グリーンエナジー・プラス（本社：東京都杉並区、代表取締役：竹村 敏之、以下「グリーンエナジー・プラス」）は、中部エリアにおいてバルクスキーム（※1）を用いた低圧太陽光発電所の開発に関して協業することに合意いたしましたので、お知らせいたします。

１．協業の背景

再生可能エネルギーの導入拡大が社会的に求められる中、国内における大規模太陽光発電所の開発に適した土地は限定的になりつつあります。このような状況下で、低圧・高圧双方の発電所開発を得意とし、バルクスキームによる低圧太陽光開発の実績を有するグリーンエナジー・プラスと、発電所開発に加えて蓄電池活用やコーポレート PPA（※2）による電力販売にも強みを持つ ERE グループが協業することにより、開発難易度が高まる事業環境においても、迅速に発電所開発を推進できるものと考えております。

２．協業の概要

本協業において、グリーンエナジー・プラスが開発および建設した太陽光発電所を ERE グループが譲り受けます。2026 年までに 50 件、合計設備容量 5MW 規模の発電所について順次着工・建設を進め、2026 年中に全ての発電所の商業運転開始を目指します。

３．今後の展開

両社は本協業を通じて、それぞれの知見とノウハウを最大限に活用し、開発エリアの拡大を図ることで、再生可能エネルギーのさらなる普及に貢献してまいります。

※1 バルクスキーム：複数の発電所を同時並行的に開発・建設することにより、効率的に大規模な発電容量を確保する手法。
※2 コーポレート PPA：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略称。企業が発電事業者から再生可能エネルギー電力を長期的に購入する契約形態。

＜ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（ERE）について＞

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（旧 ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社）は、「再生可能エネルギーで世界を変える」というミッションのもと、2012 年に設立されました。地域社会との連携を図りながら、国内で 120 箇所以上の発電所（太陽光・風力・バイオマス）を運営または建設中であり、洋上風力発電を含む複数の大型プロジェクトも計画しています。再生可能エネルギー事業を通じて、環境・社会課題の解決および脱炭素で持続可能な社会の実現を目指しています。

ウェブサイト: https://www.eneos-re.com/

＜株式会社グリーンエナジー＆カンパニーグループについて＞

株式会社グリーンエナジー＆カンパニーグループは、2009 年の設立以来、「自然資本の新しい時代をリードする」ことを目指し、GX（グリーン・トランスフォーメーション）関連事業を展開しています。2024 年には持株会社体制へ移行し、グループ経営管理および関連業務を担っています。プライベート発電所（太陽光発電）、系統用蓄電池、ネットゼロ・エネルギー・ハウス、スマート農業、GX メンテナンスといった多岐にわたる事業を通じて、エネルギーコストを気にせず快適に生活できる社会、そしてグリーンでいっぱいの日常の実現を目指しています 。再生可能エネルギーの普及と持続可能な社会の構築に向け、挑戦を続けています。

ウェブサイト: https://green-energy.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社
経営企画部 広報 CSR チーム
電話：03-6455-4905
Email：pr@eneos-re.com

株式会社グリーンエナジー＆カンパニー
IR 担当：板東・石川
電話：050-1871-0651
Email：ir@green-energy.co.jp